

日本伝熱学会関西支部 第23期 定時総会・特別講演会・第24期 第1回講演討論会

主催：日本伝熱学会 関西支部

開催報告

開催日時： 平成29年4月28日(金) 13:30~20:00

開催場所： 神戸大学六甲台第二キャンパス 瀧川記念学術交流会館 大会議室

[13:00 - 13:30]

- 関西支部第23期定時総会 (参加者数：51名+委任状：28通)
- 特別講演会・第24期 第1回講演討論会 (参加者数：90名)

特別講演会 [13:40 - 15:40]

1. 「伝熱を切り口とした人間感覚に関する研究 ～人体熱モデル開発からおいしさ・健康調理ラボまで～」

竹森 利和 氏 (大阪ガス)

ご自身の伝熱工学を切り口とした研究開発の経験の中から、人体熱モデルの開発、床暖房や空調の快適性、入浴時の血圧変化と湯温・動作速度の関係、ミストサウナの効用の研究、さらには最近のおいしさ・健康調理ラボラトリーでの取り組みなど、これまでの多岐にわたる展開を豊富な動画資料とともにご紹介いただきました。

2. 「マイノリティーな超音速燃焼屋が伝熱屋ドミナントな世界に迷い込んで」

伊藤 宏幸 氏 (ダイキン工業)

コンピュータの劇的な発展期にCAEの空調機への適用やその最適化、制御など幅広い分野で研究開発を行われたご自身の経験をご紹介いただくとともに、数学など大学における一般教養の重要性など、特に講演会当日に多く出席していた学生へのメッセージを含めてお話しいただきました。

第24期 第1回講演討論会 [16:00 - 17:30]

1. 「気泡と機能表面の複合利用による自然対流熱伝達の促進」

北川 石英 氏 (京都工芸繊維大学)

液体中におかれた鉛直・傾斜加熱平板に沿う自然対流場に、微小な気泡群を注入した場合に得られる伝熱促進とそのメカニズムについて実験結果に基づき解説していただきました。さらに親水面と撥水面を組合せた昨日表面と気泡注入を複合的に利用することの伝熱性能に対する効果についてご講演いただきました。

2. 「レドックスフロー電池における反応輸送現象の解明にもとづく設計と実装概要」

津島 将司 氏 (大阪大学)

大規模電力貯蔵システムへの展開が期待されるレドックスフロー電池について、その高性能化の鍵となる極材料とセル構造の設計と実装へ向けた取り組みについて紹介していただきました。楯歯流路の採用による活物質供給の改善をもたらす性能向上や、電極マイクロ構造を反映した電気化学反応と輸送現象モデルの構築、それに基づく現象解明とパラメータの最適化などを解説していただきました。

[18:00 - 20:00]

講演討論会終了後，講演者をお招きし，六甲苑にて活発な意見交換を行いました。（参加者数 47名）



集合写真



竹森氏



伊藤氏



北川氏



津島氏